

## 中山間対策

### 活性化に道路整備重要では

### 一層の整備推進に努める



矢野 依伸 議員

るが、更なる対策のために中山間地域に入り、地域の声を聞く場を持ちたい。

### 金子 まちづくり課長

中山間地域も含め道路整備の重要性は認識しており、町道は例年10から15路線の改良工事を実施

している。

また、町道大井川馬荷線は早咲から上田の口の中山間を一本の道でつなぐ路線であるため、より一層の整備推進に努める。県道は8路線で改良工

事を実施しているが、幡多土木事務所への要望書提出や現地視察、また、県議会にも計画的整備の要望を行っている。

県道大用大方線、岡本大方線は見通しの悪い箇所や狭隘な区間が残っているため、引き続き整備要望を行う。



狭隘な区間が残る県道岡本大方線(337号)

## 安全対策

### 子どもを守る

### 取り組みは

町全体で見守る組織が必要

【問】 全国で子どもたちが犠牲となる事件・事故が多発しているが、子どもたちを守る取り組みは。

### 藤本 教育次長

【答】 保育所、学校施設の防犯監視カメラの設置検討や子ども見守りカメラの増設などのハード面と、学校内の安全教育と、行政と地域の見守り活動などのソフト面の両面が必要と考える。登下校時には少年補導センター職員、スクールガードリーダーによる見守り活動に加え、学校支援地域本部やコミュニティ、また、見守り隊などの組織があるが、それぞれ独自の取り組みで、全てが十分な活動とは言えない。町全体で子どもを見守る組織づくりが必要と考えている。

## 人口対策

### 宅地整備の

### 必要性は

公営住宅の耐震化を優先



入野小学校西側の海拔約17mの高台に整備された城山団地(中段部左側)を新庁舎駐車場から望む。右側は今年3月下旬に開通した国道56号「大方改良」

### 金子 まちづくり課長

町内に建築可能な宅地が存在する場合、町外への人口流出を防ぐ可能性はあるが、流出抑制のための住宅地整備計画は持っていない。

整備の必要性は感じているが、喫緊の課題として公営住宅の耐震化を優先的に取り組んでいきたい。

### 【その他の質問】

・全国学力・学習状況調査結果について

【問】 中山間地域の少子高齢化が一段と進んでいる現状をどのように考えているか。また、中山間地域の集落維持・活性化には道路整備は重要と考えるが、この地域に通じる主要幹線道の整備状況、取り組みはどうか。

### 西村 企画調整室長

【答】 まち・ひと・しごと総合戦略に基づき、集落活動センターやあったかふれあいセンター、公共交通網の整備等を進めてい